

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

受託団体名：草津市国際交流協会

1. 事業名称

- ・日本語教育における地域連携、日本語教室を核とした協働の多文化共生社会づくり

2. 事業の目的

- ・草津市として外国人を受入れるための市民の理解と、持続可能な仕組み作りが急務であるので今回の事業を通して行政の協力を得ながら草津市内の日本語教育体制の整備を目的とし、行政の指針づくりを促すきっかけを作ります。

3. 事業内容の概要

- ・運営委員会で地域課題を明確にし、各取組の進捗を確認しつつ、事業の評価及び効果の検証を行い、本年度は下記の4つの取組を連動させ実施することにより、上記目標の達成を目指します。
取組1のネットワーク会議で、課題達成の為の具体的対応策を決めます。
取組2で活動の実施者となる日本語教育支援者のレベルアップ研修会を実施します。
取組3で研修修了者による「生活向上に向けての日本語教室」を運営します。
取組4で地域住民の日本語教育への理解促進のシンポジウムを開催します。

4. 事業の実施体制について

- ・地域で日本語教室を運営している代表者3名(恩地、重松、中西)に参加してもらい考え方のベクトルを合わせました。(中西は日本語地域コーディネーター) その上で、課題を明確にするために、外部より有識者にも参画してもらおうと同時に、外国人を雇用している企業代表者、市内外に在住している外国人にも参加してもらいました。行政内部への調整の為にも、草津市国際交流協会の担当窓口である草津市役所まちづくり協働課、教育委員会にも参加してもらった。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	桑名 恵	立命館大学共通教育推進機構 准教授
2	金網 蓉子	びわこ日本語教育ネットワーク 代表
3	大野 まゆみ	草津市役所まちづくり協働課 グループ長
4	田中 秀具	元立命館大学インターナショナルハウス寮長
5	恩地 美和	日本語教室オリーブ 代表
6	重松 叡子	日本語教室シッパス 代表
7	中西 まり子	草津市国際交流協会 副会長(日本語教室 代表) 日本語地域コーディネーター
8	浦 幹夫	草津市国際交流協会 事務局長

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 5 月 18 日(月) 10:00～12:00	2 時間	草津まちづくり センター	桑名 恵 金綱 蓉子 松岡 秀樹 田中 秀具 恩地 美和 重松 叡子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 行政に多文化共生の窓口が無い ①その必要性の確認 ②どこが窓口になれば適切か？ ③窓口を明確にしてもらう 2. 日本語教室の現状の確認 ①3教室の現状確認 ②各教室の課題を明らかにした ③事業遂行にあたっての協力関係維持の確認 3. 取組内容についての議論 ①最初の取組2についての意見交換 ②他の団体の日本語指導者養成講座も参考に 4. 全体 ①今回の議論で共通認識が得られた
2	平成 27 年 6 月 29 日(月) 10:00～12:00	2 時間	草津まちづくり センター	桑名 恵 金綱 蓉子 田中 秀具 恩地 美和 重松 叡子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組2に関して ①前 10 回の研修として、最初と最後は全体研修 ②火曜教室、日曜教室を各4回とする ③広報活動を行い、草津市近隣にも徹底する 2. 取組3に関して ①各教室の自主性に任せるが、共通講座として 防災・医療・自治会等を取上げる ②広報のやり方についての検討 3. 取組4に関して ①講師・パネラーの検討 ②シンポジウムの位置付け(周知方法の検討) ③シンポジウムのテーマ決定の必要性
3	平成 27 年 7 月 27 日(月) 10:00～12:00	2 時間	草津まちづくり センター	桑名 恵 金綱 蓉子 松岡 秀樹 田中 秀具 恩地 美和 重松 叡子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組2に関して ①実施状況の確認 2. 取組4に関して ①日時、場所の確認 ②全体コンセプト、サブタイトルの決定 ③全体構成の検討 ④パネルディスカッション出場者の確認 ⑤内容に関する留意点
4	平成 27 年 11 月 9 日(月) 10:00～12:00	2 時間	草津まちづくり センター	桑名 恵 金綱 蓉子 松岡 秀樹 田中 秀具 恩地 美和 重松 叡子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組1に関して ①実施報告書の内容の確認 2. 取組2に関して ①実施報告書の内容の確認 ②報告書に追記する項目の確認 ③今回の反省点(次回に活かしたい項目) ④報告書の成果の項目の確認 3. 取組3に関して ①各教室の実施状況の確認 4. 取組4に関して ①(案)の内容の確認 ②広報の方法確認 ③当日の対応内容に関して 5. 次年度以降へのこの事業の継続に関して ①各教室の意向確認の上、進める方向で検討 6. 本年度事業全体を通じての各委員の意見 ①各委員より意見を聞く

※各回の打合せ議事録を添付します。(4回分)

6. 取組についての報告

取組1:地域連携のためのネットワーク会議の開催

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・運営委員会の課題目標確認の後、具体的な「生活者としての外国人」のニーズを把握するための「ネットワーク会議」を設置して、ニーズの調査確認をすると同時に各団体との関係を強化しました

(2) 取組内容

- ・「ネットワーク会議」のメンバーとしては、草津市行政課の担当者、大学関係者、行政機関担当者、各教室担当者、企業担当者、在住外国人が集まり日本語教室のあり方を検討しました

(3) 対象者

- ・内容に記した各部署よりの担当者の参加を進めると同時に、日本語学習者であり現在日本に在住する外国人にも参加して貰い、本当のニーズを確認しました

(4) 参加者の総数 _____10人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 _____人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
1		1							8

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数) 4回

・ _____6時間 (1.5時間× 全 4回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 6 月 1 日(月) 13:00~14:30	1.5 時間	草津まちづくり センター	宮下 聖史 吉田 万里 大野 まゆみ 福嶋 正雄 谷口 デボラ(ブ) 周 穎(中国) 恩地 美和 重松 叡子 中西 まり子 浦 幹夫	1. どんなことに困っているのか ①困ったときに援助が欲しい ②敬語の使い方を教えてほしい ③行政への通訳の必要性について 2. 行政の窓口対応について ①相談者の幅が広いので個別に対応している ②行政窓口に通訳設置が必要 ③事業遂行にあたっての協力関係維持の確認 3. 取組2に関して ①対象者への広報に注意が必要 ②内容に関して講師と別途打合せが必要 4. 取組3に関して ①外国人より見て本当に必要なテーマは ②具体的内容は次回に打合せ 5. 取組4に関して ①実施時期、場所の早期決定が必要

					②学習者の発表の場？ ③幅広い参加者を募る広報検討
2	平成 27 年 7 月 9 日(木) 10:00～11:30	1.5 時間	草津まちづくり センター	宮下 聖史 福嶋 正雄 谷口 デボラ(ブ) 恩地 美和 重松 勲子 中西 まり子 内田 幸夫	1. 取組2に関して ①実施状況の報告 2. 取組3に関して ①合同教室の3項目の決定 防災・交通安全・ゴミの出し方(環境) ②日本文化に関する内容を各教室で実施 3. 取組4に関して ①日程・場所の決定が早急に必要
3	平成 27 年 8 月 3 日(月) 10:00～11:30	1.5 時間	草津まちづくり センター	宮下 聖史 吉田 万里 市原 義明 福嶋 正雄 谷口 デボラ(ブ) 周 穎(中国) 恩地 美和 重松 勲子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組2に関して ①実施状況の確認 2. 取組3に関して ①合同教室の内容確認 ②各教室テーマ検討(3教室案の確認) ③上記内容に関して外国人の目より見た意見を 聞き内容に反映できるか確認 3. 取組4に関して ①日時場所の決定内容確認 ②全体コンセプト、サブタイトルの確認 ③全体構成の検討 ④基調講演者の検討 ⑤パネルディスカッション内容の検討 ⑥パネルディスカッションのコーディネーター検討 ⑦司会者の検討
4	平成 27 年 9 月 7 日(月) 10:00～11:30	1.5 時間	草津まちづくり センター	宮下 聖史 松岡 秀樹 福嶋 正雄 谷口 デボラ(ブ) 周 穎(中国) 恩地 美和 重松 勲子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組2に関して ①実施報告書の内容の確認 ②参加者意見の確認 2. 取組3に関して ①3教室のチラシ内容の確認 ②広報の方法検討(HP、市役所各部署) ③参加者が出席しやすい表現を追記 ④各教室地図を明記することの確認 3. 取組4に関して ①実施計画の確認 ②出演者の確認 ③広報への協力体制 4. 今回の会議に出席して感じたこと ①各委員より今回のネットワーク会議に参加して 感じた事、意見を確認した

※各回の打合せ議事録を添付します。(4回分)

(8) 特徴的な活動風景

取組事例①

運営委員会【第2回平成 27 年 6 月 29 日】

取組2の実施内容の確認

取組3の各教室案の検討(オリーブ、シッパス、草津市国際交流協会)

取組4の出演者の検討、イベント全体の流れの検討



取組2: 日本語教育支援者のステップアップ研修

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・草津市内の3教室の日本語教育支援者のステップアップを図ると同時に、3教室の支援者同士のコミュニケーションを図り、情報の共有化や連携を強化して、3教室の教室運営の自由度を増す。又、新しい人材の確保も目指しました

(2) 取組内容

- ・日本教育支援者のステップアップ研修会を開催しました
 - ①参加者を草津市域外よりも募り、新しい人材の確保にも努めました
 - ②2Hの授業を全10回開催し、幅広い参加者に受講の機会を拡げました

(3) 対象者

- ・オリーブ・シッパス・草津市国際交流協会に参加している日本語教育支援者を中心に、草津市域外の人にも幅広く参加者を募りました

(4) 参加者の総数 64人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
----	----	------	------	------	--------	----	-----	-------	----

(5) 開催時間数(回数) 10回

・ 20 時間 (2 時間 × 全 10 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 7 月 19 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津市役所	41 人	全体研修会	「日本語でコミュニケーション」と言うテーマでの講義とワークショップ	中川 良雄	恩地 美和 田中 京子 内田 幸夫
2	平成 27 年 7 月 21 日(火) 13:30-15:30	2 時間	草津市役所	25 人	火曜教室 1	教室活動のいろいろ 「可能」を例にしたワークショップ形式の授業	中川 良雄	重松 叡子 田中 京子 内田 幸夫
3	平成 27 年 7 月 26 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	29 人	日曜教室 1	教室活動のいろいろ 「可能」を例にしたワークショップ形式の授業	中川 良雄	恩地 美和 内田 幸夫
4	平成 27 年 7 月 28 日(火) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	28 人	火曜教室 2	教案の作り方 模擬授業に向けてのグループワーク	中川 良雄	重松 叡子 田中 京子 内田 幸夫
5	平成 27 年 8 月 2 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	29 人	日曜教室 2	教案の作り方 模擬授業に向けてのグループワーク	中川 良雄	恩地 美和 内田 幸夫
6	平成 27 年 8 月 4 日(火) 13:30-15:30	2 時間	草津市役所	25 人	火曜教室 3	模擬授業のワークショップ ・「います」「あります」 ・「テ形」(~います)	中川 良雄	重松 叡子 田中 京子 内田 幸夫
7	平成 27 年 8 月 9 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	23 人	日曜教室 3	模擬授業のワークショップ ・「これ・それ・あれ」 ・「テ形」(~います) ・「くれます・あげます・もらいます」	中川 良雄	恩地 美和 内田 幸夫
8	平成 27 年 8 月 11 日(火) 13:30-15:30	2 時間	草津市役所	18 人	火曜教室 4	模擬授業のワークショップ ・「います」「あります」 ・「テ形」(~います) ・助数詞	中川 良雄	重松 叡子 田中 京子 内田 幸夫
9	平成 27 年 8 月 23 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	14 人	日曜教室 4	模擬授業のワークショップ ・「これ・それ・あれ」 ・「テ形」(~います) ・「くれます・あげます・もらいます」	中川 良雄	恩地 美和 内田 幸夫
10	平成 27 年 8 月 30 日(日) 13:30-15:30	2 時間	草津まちづくりセンター	36 人	全体研修会	「日本語教育の社会貢献とグローバル人材」と言うテーマでの講義 ・今回の授業を通して学んだ日本語教師としての課題を共有するためのグループ討議	中川 良雄	恩地 美和 田中 京子 内田 幸夫

(8) 特徴的な活動風景

取組事例①

【第1回平成 27 年年7月19日】

全体研修会「日本語でコミュニケーション」と言うテーマでの講義とワークショップ



取組事例②

【第9回平成 27 年年8月23日】

模擬授業形式でのワークショップ風景

「くれます・あげます・もらいます」



取組3:生活向上に向けての日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・現在草津市で行われている3日本語教室の授業に、「ネットワーク会議」より提案された外国人住民ニーズにあるテーマを取入れた教室運営を行いました。更に、いままで日本語教育を受ける機会の無かった外国人家族に参加してもらいやすい教室を目指しての地域、開催日を変えた教室の体制を整えました。

(2) 取組内容

- ・外国人住民のニーズを加え、草津に来たばかりの外国人を対象に、すぐ役立つ場面シラバスを使った日本語教室を実施しました
 - ①防災の知識の習得と、防災訓練の実施体験
 - ②交通安全ルールの講習会と実技(県警本部よりの出前授業)
 - ③ゴミの出し方等の実社会での生活に必要な言葉の習得
- 子育て中の外国人の参加を促す意味で、ベビーシッターを付ける教室運営を行った

(3) 対象者

- ・生活していく上での基本の日本語教育を受ける機会の少なかった人及び学習意欲のある人

(4) 参加者の総数 108 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 75 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
12	2	6	6	4	9	4	3	8	

※その他の国籍と人数:

マレーシア(3名)、バングラディッシュ(2名)、アメリカ(1名)、イギリス(1名)、ポーランド(1名)、香港(1名)
 タンザニア(1名)、パキスタン(2名)、スペイン(1名)、オーストラリア(1名)、ドイツ(1名)、台湾(1名)
 ウズベキスタン(2名)、エジプト(1名)、アフガニスタン(2名)

(5) 開催時間数(回数)

・ 78 時間 (2時間 × 全 39回)

(6) 活動の内容—1(オリーブ教室)

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 10 月 3 日(土) 19:00-21:00	2 時間	草津まちづくりセンター	23 人	災害に備える	・地震・台風・火事への対応策の学習 ・避難時に準備する物をグループで考えさせ発表した	豊村 信良	恩地 美和 堀野 善康 内田 幸夫

						・準備物の必要性を認識してもらった		
2	平成 27 年 10 月 10 日(土) 13:30-15:30	—	込田公園	25 人	3 教室合同 「防災訓練」	・起震車体験 ・「煙道トンネル体験」 ・「消火訓練(水消火器)」	【湖南広域 消防局】	豊村 信良 内田 幸夫
3	平成 27 年 11 月 14 日(土) 19:00-21:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	18 人	環境教室 「ゴミ分別」	・各国のゴミ処理状況確認 ・リサイクルとレデュースの 必要性の解説 ・ゴミ分別のグループ学習 ・11 種類の分別廃棄の実習	藤田アニコ ー	恩地 美和 豊村 信良 内田 幸夫
4	平成 27 年 11 月 15 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 1 「自己紹介」	・パーティでの自己紹介仕方 ・ロールプレイを中心に学習 者よりの質問に答える形式	堀野 善康	豊村 信良
5	平成 27 年 11 月 15 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	7 人	中級 1 「自己紹介」	・自己紹介の仕方より丁寧 語・尊敬語・謙譲語の学習 ・普通の会話より、尊敬・謙譲 表現に変える実習	恩地 美和	内田 幸夫
6	平成 27 年 11 月 22 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 2 「買い物」	・スーパーコンビニでの聞き 方、レジでの会話 ・実際にコンビニで実践学習	堀野 善康	豊村 信良
7	平成 27 年 11 月 22 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	6 人	中級 2 「プレゼントと お礼」	・各国でのプレゼントの習慣 やルールを発表 ・日本での贈り物を教え、そ の場面での所作を学習	内田 幸夫	恩地 美和
8	平成 27 年 11 月 29 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 3 「レストラン で」	・レストラン入店より、注文・ 支払までの会話を勉強 ・ロールプレイで役割を変え て何度も実習	堀野 善康	豊村 信良
9	平成 27 年 11 月 29 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	6 人	中級 3 「人を紹介 する」	・上司の家を訪れた時の、玄 関・部屋・帰る場面でのど のように話すか学習 ・2 名 1 組でロールプレイ	内田 幸夫	恩地 美和
10	平成 27 年 12 月 6 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 4 「町を歩こう Ⅰ」	・通行人に目的地までの道の 聞き方を学習 ・その後、役割を変えてロー ルプレイで実習	堀野 善康	豊村 信良
11	平成 27 年 12 月 6 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	中級 4 「俳句をよも う」	・季語を入れた 575 の俳句 の内容と構成を学習 ・各人が作った俳句を発表 し、講師がコメントした	中村 健治	恩地 美和 内田 幸夫
12	平成 27 年 12 月 12 日(土) 19:00-21:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	18 人	交通安全教 室	・自転車についての道交法改 正のポイントを学習 ・外国人が犯罪に巻き込まれ る事例学習(オレオレ詐欺)	【滋賀県警 察本部】	恩地 美和 豊村 信良 内田 幸夫
13	平成 27 年 12 月 13 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 5 「町を歩こう Ⅱ」	・ロールプレイを中心に、切 符の買い方、目的地への 行き方、乗り越し運賃の精 算の仕方を学習	堀野 善康	豊村 信良
14	平成 27 年 12 月 13 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	中級 5 「日本語らし い会話」	・諺とはを学んだ後、絵カード を使い諺を入れた会話発表 ・おやじギャグの作り方を学 習	杉山 仁	杉山 美子 恩地 美和

15	平成 27 年 12 月 20 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 6 「病院で」	・病院で受付手順から、受診 時の注意、薬局での薬の 受取り方を学習	堀野 善康	豊村 信良
16	平成 27 年 12 月 20 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	中級 6 「病院で」	・症状をどう伝えるかをオノマ トベを交え6つの病気や怪 我を例にロールプレイで学 習	杉山 美子	杉山 仁 恩地 美和
17	平成 28 年 1 月 10 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	初級 7 「申込書の 書き方」	・申込書を記載するのに必要 な語彙を教え、具体的な書 き方を実習した	堀野 善康	豊村 信良 内田 幸夫
18	平成 28 年 1 月 10 日(日) 10:00-12:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 人	中級 7 「関東と関 西の文化の 違い」	各地方に方言があることを学 習。関西弁と共通語の違いを 指導。アクセント含めて関 西弁を話す実習をした	杉山 美子	杉山 仁 恩地 美和
19	平成 28 年 1 月 16 日(土) 19:00~21:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	25 名	書初め	筆の使い方の説明より、各人 が好きな漢字を練習した後、 その字を選んだ訳をコメント	小春 京子	豊村 信良 恩地 美和 内田 幸夫
20	平成 28 年 1 月 23 日(土) 19:00~21:00	2 時間	草津まちづ くりセンター	5 名	「俳句を読 もう」	・季語を入れた575の俳句 の内容と構成を学習 ・各人が作った俳句を発表 し、講師がコメントした	中村 健治	恩地 美和 豊村 信良
合計授業時間		40 時間						

活動の内容—2(シッps教室)

回	開講日時	時間 数	場所	受講 者数	取組の テーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 9 月 16 日(水) 10:00-12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	8 人	日本文化に 親しもう	筆を使ってひらがな、カタカナ を書いてみる 好きな言葉を色紙に書く	山村百合子	肥土マサ子 清水真知子 佐野 玲子
2	平成 27 年 9 月 30 日(水) 10:00~12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	8 人	防災のため の日本語	災害(地震・台風・津波)が起 こった時の対処法の確認 防災用語や避難所で使うや さしい日本語	佐野 玲子	山村百合子 清水真知子 堀野 善康
3	平成 27 年 10 月 10 日(土) 13:30-15:30	—	込田公園	25 人	3 教室合同 「防災訓練」	・起震車体験 ・「煙道トンネル体験」 ・「消火訓練(水消火器)」	【湖南広域 消防局】	山村百合子 堀野 善康
4	平成 27 年 10 月 28 日(水) 10:00~12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	16 人	日本文化を 知ろう	皆で新米で炊いたおにぎりを 作る 三味線に合わせた歌を練習 する	木村 正子	堀野 善康 佐野 玲子 松尾美智子
5	平成 27 年 11 月 4 日(水) 10:00~12:00	—	クリアホール	9 人	2 教室合同 「環境教室」	・各国のゴミ処理状況確認 ・リサイクルとレデュースの 必要性の解説 ・ゴミ分別のグループ学習 ・11 種類の分別廃棄の実習	—	佐野 玲子
6	平成 27 年 11 月 11 日(水) 10:00~12:00	—	草津市立市 民交流プラザ	16 人	3 教室合同 「子ども弁 当作り」	弁当作りのポイント説明 実際の子ども弁当作り 飾り切りのポイント説明 飾り切の実習	—	山村百合子 堀野 善康

7	平成 27 年 11 月 18 日(水) 10:00~12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	7 人	宿場町草津 を知らう	旧東海道、旧中山道を歩き 草津宿本陣、太田酒造見学 浮世絵刷りの体験と江戸時 代の着物の試着	清水眞知子	重松 叡子 木村 正子 松尾美智子
8	平成 27 年 12 月 16 日(水) 10:00~12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	8 人	「日本文化」 年賀状を作 らう	紙芝居で十二支を学んで干 支の説明。各自で母国に向 けた年賀状を書く	堀野 義康	肥土マサ子 佐野 玲子 清水眞知子
9	平成 28 年 1 月 13 日(水) 10:00~12:00	2 時間	多分化共生 支援センター	11 人	2 教室合同 消防局によ る救命講習	心肺蘇生法の実習 AEDの使用手順 気道異物の除去方法 119 番通報、救急車の呼び方	松尾美智子	重松 叡子 山村百合子 木村 正子
合計授業時間		12 時間						

活動の内容—3(草津市国際交流協会教室)

回	開講日時	時間 数	場所	受講 者数	取組の テーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 9 月 30 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	7 人	人と知り合 いになる	自己紹介の仕方 (名前・国名・職業・住所) 転居した時の挨拶の仕方	田中 京子	草川たづ子 飯田 清子 渡辺 博子
2	平成 27 年 10 月 7 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	7 人	災害でも困 らないため に	色々な災害の説明 災害時に必要な日本語 災害に備えて準備する物 避難場所の確認 防災メモの書き方	内田 幸夫	田中 京子 丹羽 昌子 長岡久美子 高市寿美子
3	平成 27 年 10 月 10 日(土) 13:30~15:30	2 時間	込田公園	25 人	3 教室合同 「防災訓練」	・起震車体験 ・「煙道トンネル体験」 ・「消火訓練(水消火器)」	【湖南広域 消防局】	田中 京子 高市寿美子
4	平成 27 年 10 月 14 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	6 人	役所・郵便 局・銀行を 利用する	道の訪ね方 郵便局で出来る事 銀行と郵便局の場所確認 自国との違いを知る	高市寿美子	田中 京子 三浦千恵子 鶴田真理子
5	平成 27 年 10 月 21 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	8 人	草津を知ら う	草津の歴史 天井川の成立 草津の四季の行事 草津の名物・お勧めの場所	高橋小百合	川辺佐登美 渡辺 博子 飯田 清子 田中 京子
6	平成 27 年 10 月 28 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	9 人	日本の伝統 文化に触れ る	浴衣を着て日本舞踊の指導 和室での作法を習う (引戸の開け閉め、お辞儀) 着物姿で記念写真	音羽菊米治	草川たづ子 川辺佐登美 長岡久美子 田中 京子
7	平成 27 年 11 月 4 日(水) 10:00~12:00	2 時間	クレアホール	9 人	2 教室合同 「環境教室」	・各国のゴミ処理状況確認 ・リサイクルとレデュースの 必要性の解説 ・ゴミ分別のグループ学習 ・11 種類の分別廃棄の実習	藤田アニコ ー	飯田 清子 三浦千恵子 田中 京子 内田 幸夫
8	平成 27 年 11 月 11 日(水) 10:00~12:00	2 時間	草津市立市 民交流プラザ	16 人	3 教室合同 「子ども弁 当作り」	弁当作りのポイント説明 実際の子どもの弁当作り 飾り切りのポイント説明 飾り切の実習	山元 成子	鶴田真理子 高市寿美子 草川たづ子 田中 京子

9	平成 27 年 11 月 18 日(水) 10:00～12:00	2 時間	クリアホール	6 人	地域の日本人との付き合い方	敬語のマナーの必要性 近所人との挨拶の仕方 引越時の挨拶の仕方 ロールプレイング	丹羽 昌子	田中 京子 草川たづ子 内田 幸夫 川辺佐登美
10	平成 27 年 11 月 25 日(水) 10:00～12:00	2 時間	クリアホール	6 人	病気になった時は	病院でのやり取り実習 (医師、看護婦、患者でロールプレイング) 病院に行くときに準備する物	川辺佐登美	田中 京子 高橋小百合 渡辺 博子 高市寿美子
11	平成 27 年 12 月 1 日(火) 10:00～12:00	2 時間	クリアホール	6 人	誘いの受け方・断り方	鍋パーティに誘われる設定で ロールプレイング 国の違いの認識 (約束の時間)	三浦千恵子	田中 京子 内田 幸夫 川辺佐登美 丹羽 昌子
12	平成 27 年 12 月 9 日(水) 10:00～12:00	2 時間	クリアホール	6 人	地域での楽しい暮らし方	町内会の仕組み 地域の情報の集め方 ロールプレイング (地域の情報の確認方法)	鶴田真理子	高市寿美子 高橋小百合 渡辺 博子 田中 京子
13	平成 27 年 12 月 16 日(水) 10:00～12:00	2 時間	クリアホール	7 人	日本の季節行事	年賀状について 寒中見舞いと喪中ハガキ 皆で年賀状を書く 折紙をおる	丹羽 昌子	田中 京子 草川たづ子 高市寿美子
14	平成 28 年 1 月 13 日(水) 10:00～12:00	—	多分化共生支援センター	11 人	2 教室合同 消防局による救命講習	心肺蘇生法の実習 AEDの使用手順 気道異物の除去方法 119 番通報、救急車の呼び方	—	高橋小百合
合計授業時間		26 時間						

(8) 特徴的な活動風景

取組事例①

【3教室合同活動 平成 27 年年10月10日】

3 教室合同で防災訓練を実施した。

起震車で震度7の揺れを体験しているタンザニア人



取組事例②

【クレア教室第7回 平成27年11月4日】:シッps教室第5回と合同開催
循環型社会創造研究所えこらを運営し、草津市国際交流協会のメンバーであるハンガリー人の藤田アニコーさんを講師に、循環型社会を創るための考えを学んだワークショップ



取組事例③

【オリーブ教室第12回 平成27年12月12日】
滋賀県警察本部外国人共生対策担当の婦警さんの協力を得て、交通安全法規の改正内容の講習と、自転車の乗り方の実習風景



取組4:シンポジウムの開催

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・地域住民に日本語教室の周知及び日本語教育への理解促進

(2) 取組内容

- ・草津市における外国人住民への日本語教育支援活動について広く地域住民に周知し、日本語教育の必要性や実情と課題を、地域住民に知ってもらい、今後の市内日本語教育体制の構築のために、有識者専門家や先進地の講師によるシンポジウムの開催

①第1部:草津市出身落語家桂三風高座「多文化共生社会に生きるとは」

②第2部:基調講演「外国人住民より見た多文化共生、そして地域への思い」

講師:多文化共生マネージャー全国協議会 時事務局長

③ :パネルディスカッション「外国人住民と地域で暮すために」

パネラー、進行役含めて5名が登壇

(3) 対象者

- ・行政の関連部署職員を含む草津市市民及び近隣住民

(4) 参加者の総数 _____ 130人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 _____ 22 _____人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
6		2	2	1	4		3	2	108

※その他の国籍と人数:

バングラディシュ(1名)、アメリカ(1名)

(5) 開催時間数(回数)

・ _____ 3 _____時間 (_____ 3時間 × 全 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 28 年 2月7日(日) 13:30-16:30	3時間	草津アミカ ホール	130 人	市長挨拶	後援を受けている草津市長 挨拶	善利副市長 代読	
事業紹介					本事業の趣旨、意義の説明 運営委員会紹介 取組①ネットワーク会議紹介 取組②日本語教育支援者の ステップアップ研修会紹介 取組③生活者のための日本 語教室活動紹介 今回のシンポジウムの意義	宮下 聖史		

					次年度以降への展望		
3				第1部高座	草津市出身の落語家桂三風	桂 三風 桂 三語	
4				基調講演	「外国人より見た多文化共生、そして地域への思い」	時 光	
5				パネルディスカッション	「外国人住民とともに地域で暮すために」	山元チャベス 恩地 美和 金子 則江 土井 佳彦 時 光	

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【平成 28 年2月7日】

多文化共生シンポジウム「あなたのとなりに外国人！つながろう、やさしい日本語で！！」



8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

- ・草津市として外国人を受け入れるための市民の理解と、持続可能な仕組み作りが急務であるので、今回の事業を通して行政の協力を得ながら草津市内の日本語教室運営の整備を目的として、行政の指針作りを促すきっかけを作ります。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

- ・運営委員会での課題確認に引き続き、ネットワーク会議で計画の詳細を決定して行ったが、運営委員会は出席率97%、ネットワーク会議も90%と高かった事は参加者の意識が高く、今回の事業遂行に対するモチベーションは高かった。

取組2の「日本語教育支援者のステップアップ研修会」については、当初計画の人数を上回る64名の参加者があり、特に有意義であったのは新規参加者の中より、3教室の日本語教育支援者への参加者が各1～2名あったことはこの事業の成果と考えられる。

取組3の「生活向上に向けての日本語教室」に関しても、講師に関して滋賀県警察本部・湖南広域消防局・市役所危機管理課と行政関連各団体よりの協力を得られて事業が遂行できたことは大きかった。

取組4の「多文化共生シンポジウム」には、講師陣にも多彩な人材の参加が実現したし、行政各部署に広報したことにより、県議員・市議員・行政各担当部署よりの参加者も多く得られたシンポジウムが実現出来た。

(3) 地域における事業の効果、成果

事業計画で掲げた4つの課題に対する効果と成果を記します。

- ①行政としての市役所に外国人に対する窓口が無い点に関しては、まちづくり協働課が困っている外国人の窓口になるという事が決定できた事で達成できたが、日本語教育窓口の設置は出来なかった。
- ②草津市内3日本語教室間の交流が無かった点に関しては、今回の事業を通じて改善出来、教師の交流も始まり大きな効果があった。
- ③各教室の教師数も、今回の事業の取組2の研修会参加者より5名の新規参加者が生まれたことは大きな効果と考える。又在職していた教師のステップアップの効果も大きかった。
- ④シンポジウムの参加者として自治会関係者に多数参加してもらおう事を期待したが、この部分の広報が上手くいかず、自治会関係者の参加が少なかった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

- ・地域関係者としては、行政の窓口としてまちづくり協働課、教育委員会の担当者にはネットワーク会議に参加して貰えたし、事業を通じては草津市役所危機管理課・湖南広域消防局、滋賀県警察本部の関係者に取組3の「生活向上に向けての日本語教室」の講師として参加して貰えた効果は大きかった。

又各教室の講師として地域で活動されている、踊りの師匠、書道家、華道家、地産地消での料理作り

を進める料理家、社会活動家(循環型社会創造研究所)などの幅広い人材の方に参加してもらい、外国人との交流を深められた効果は大きかった。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

- ・ 参加者への周知の方法としては基本的手段としては「広報くさつ」での広報と草津市国際交流協会のホームページでの広報を行いました。

取組3の「生活向上に向けての日本語教室」に関しては、特にいままで日本語教室に参加できていなかった人達への広報を進めるために、多言語(英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、韓国語)のチラシを作成し、市民センター、幼稚園、保育園への配布に努めた。

取組4の「多文化共生シンポジウム」についても、事前配布用のチラシを作成して関係部署に配布したのは勿論、当日の式次第チラシも新規に作成し広報を徹底した。

(6) 改善点, 今後の課題について

- ・ 事業全体を通じて、内容の決定が遅くなりがちで広報期間が短くなった点は今後の改善点。
- ・ 市役所内での担当者の連携も悪く、新規の外国人の日本語教育窓口を設置する件に関して進展が見られなかった。
- ・ シンポジウムへの参加者に直接外国人に接する自治会関係者に多数出席してもらおう事を期待したが、まちづくり協議会を通じての広報が上手くいかず、自治会関係者の出席が少なかった。

(7) その他参考資料

- ①運営会議、ネットワーク会議の全8回の議事録を添付します。
- ②取組2, 3, 4に関する作成したチラシを添付します。